

特別号



たがら



令和5年10月18日
練馬区立田柄小学校
校長 伊藤 雄一

令和5年度 学力調査(6年生)ならびに体力調査(全学年)の結果のお知らせ

今年度の国の学力調査ならびに体力調査の結果をお知らせいたします。今後は、調査結果をもとに、本校児童の学習や体力の状況に応じた授業や取組を実施していきます。以下は、学力調査、体力調査の結果ならびに分析、改善策です。いずれも、今年度及び令和6年度の教育活動や授業改善に生かしていきます。

❖ 結果を踏まえた授業改善の方向性について

◆主体的で対話的で深い学びを目指した授業に取り組む

本校では、教員の授業改善に向けた取り組みとして、算数科の指導に焦点を当て、今年度取り組んできました。取り組みを通して、算数科の授業での「学習課題の提示の工夫」や「思考ツール(数直線)の活用」、「友達同士の交流を生かした学びの大切さ」をあらためて、指導していく重点として共有しました。焦点化した授業研究での成果を日常の各自の授業にも生かしています。これらを生かして、今の時代に求められる主体的で対話的で深い学びに向けた授業改善を来年度もすすめます。また、近年の学力テストの結果を踏まえ、4年生と3年生を中心に、1分間の掛け算九九のます計算に取り組むことで、どの学級でも目に見えた改善傾向がありました。掛け算九九は中学年の躓きの多い割り算の学習にも関係してくるため、来年度以降も継続した取り組みとしていきます。今後も今までの成果を生かしつつ、更に子供たちの充実した学びになっていくよう取り組みをすすめていきます。

❖ 6年生 児童質問紙調査 (令和5年4月18日実施)

以下は、田柄小学校の項目が全国と東京都の結果のどちらも肯定的な回答が上回っている項目です。

- ・朝食を毎日食べている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・友達関係に満足している。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- ・読書は好きである。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動をする。
- ・授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている。
- ・算数の勉強が大切だと思う。
- ・英語の勉強が大切だと思う。
- 自分には、よいところがあると思う。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- 学校に行くのは楽しいと思う。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。
- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む。
- 今までの授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。

- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- 国語の勉強が大切だと思う。
- 国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章の良いところを見つけている。

○印…5ポイント以上上回っている項目

上記の複数の項目で、継続して同じ傾向が出ているものもあることから、本校児童の特徴を表していることが推察されます。田柄小の子供達の頑張っているところが上記の結果から見えてきています。一方で、「今、住んでいる地域の行事に参加している」という項目が全国、東京都と比べ下回っておりますが、今後、地域行事が行われていくので参加者も増加していくのではないかと思います。今後も、継続して結果を考察し、教育課程の編成に生かしていきます。

◆6年生 全国学力・学習状況調査 (令和5年4月18日実施)

※数値は正答率の平均:%を表しています。

国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	国語全体
田柄小	75.5	69.0	71.4	40.8	75.6	73.6	68.8	71
東京都	73.6	66.5	73.5	28.9	73.2	71.6	67.0	69
全国	71.2	63.4	72.6	26.7	71.2	68.9	65.5	67.2

算数	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	算数全体
田柄小	71.8	56.7	77.8	77.0	73.4	65.0	70
東京都	71.0	54.8	75.8	67.3	71.5	61.2	67
全国	67.3	48.2	70.9	65.5	67.2	56.5	62.5

<各教科の結果考察と改善策>

【国語】	国語全体の正答率は都平均、全国平均を上回っていました。「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」「読むこと」は都平均、全国平均共に上回っていました。「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、昨年度課題であった、漢字を正しく書いたり、文中で正しく使ったりすることが改善されて来ました。今後も正しく丁寧に書くことを意識させたり、習った漢字を日頃から使うことを習慣付けさせたりしていきます。「読むこと」については、叙述を基に登場人物の心情を捉えたり、物語の全体像を想像したりすることができています。昨年度までの校内研究で国語の「読むこと」に取り組んでいる成果も出ていますと考えられます。一方、「話すこと・聞くこと」は都平均、全国平均ともに下回っております。話し合いや伝え合いの場面を意図的に設定していくとともに、話し方・伝え方の工夫、聞き方の工夫などについて考えさせていきます。
【算数】	算数全体の正答率は都平均、全国平均を上回っていました。「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」と都平均、全国平均ともに上回っていました。特に、「数と計算」では示された場面を解釈し、計算の意味を説明したり、目的に合った数の処理を考えたりすることができています。授業では、引き続き、立式の意味、「なぜそうなるのか」ということを考えさせていきます。また昨年度課題であった「データの活用」については、表の意味を理解して全体と部分の関係に着目すること、目的に応じて分類整理されたデータを考察することに課題が改善されてきています。授業では、表やグラフを扱う際に、「何を表した表・グラフなのか」、「一つ一つの数値が何を示しているのか」、「全体の傾向はどうなっているのか」ということなどをスモールステップで考えさせていきます。

令和5年度 体力調査(1年生～6年生)の結果のお知らせ

練馬区立田柄小学校

今年度も、体力運動能力調査として「体力テスト」を実施しました。区の平均値と比較し、本校の結果についてお知らせします。

1 体力合計点の平均比較 【実施学年】 1年～6年 【実施日】 令和5年 5月～6月

学年	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
田柄小	29.5	28.0	37.7	37.9	37.7	40.1	47.5	50.7	52.7	56.4	57.5	58.8
練馬区	29.1	28.3	36.1	36.0	41.5	41.6	47.0	47.4	52.5	53.9	58.3	59.0

※網掛けの部分は、練馬区の平均と比較し、本校の合計点の平均が上回った学年です。

2 各運動種目の平均比較

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
握力(kg)	9.3	8.3	11.2	10.7	12.1	12.0	15.2	13.8	17.7	18.4	18.5	19.4
区平均	8.8	8.1	10.5	9.9	12.1	11.5	13.9	13.4	16.0	16.0	18.8	18.9
上体起こし(回)	9.2	8.7	14.6	14.0	13.5	14.5	16.7	16.3	18.7	18.8	19.3	18.8
区平均	10.9	10.3	13.8	13.1	15.5	14.8	17.3	16.4	19.3	18.5	21.0	19.5
長座体前屈(cm)	24.4	27.9	28.1	28.7	25.5	30.1	30.9	39.0	33.3	40.3	37.2	40.6
区平均	25.7	28.2	27.4	30.4	29.6	33.1	31.1	35.5	33.9	38.6	36.4	41.8
反復横跳び(回)	26.9	24.9	32.0	30.3	31.6	30.0	36.1	37.0	40.1	40.4	42.0	40.1
区平均	26.5	25.3	30.0	28.7	33.1	30.9	36.4	34.4	40.3	38.6	43.7	41.0
20mシャトルラン(回)	18.6	14.6	23.8	17.5	25.3	22.1	35.1	30.7	47.9	38.6	64.3	45.7
区平均	16.9	13.4	25.0	18.8	31.6	22.6	38.2	27.4	45.6	33.6	53.0	38.0
50m走(秒)	11.4	11.8	10.4	11.2	10.4	10.7	9.9	10.1	9.4	9.6	9.1	9.3
区平均	11.5	11.9	10.6	11.0	10.1	10.5	9.6	10.0	9.3	9.6	8.9	9.2
立ち幅跳び(cm)	119.0	105.4	122.6	118.5	127.3	122.1	141.6	140.2	147.7	147.2	158.7	145.9
区平均	112.7	103.0	122.3	113.9	131.7	123.1	141.0	133.3	149.9	142.5	161.5	151.4
ソフトボール投げ(m)	6.1	4.1	9.0	6.4	11.2	7.1	15.9	11.1	19.4	12.9	20.2	12.4
区平均	7.2	4.9	10.3	6.7	13.3	8.4	16.4	10.4	19.9	12.3	22.9	13.9

※網掛けの部分は、練馬区の平均を本校の平均が上回った種目、または練馬区の平均と本校の平均が同じ種目です。

3 分析と考察

「体力テスト」では、走・跳・投等の基礎的な運動能力を測定すると共に、それぞれのテスト項目で、基本的な体力要素となるスピード、全身持久力、瞬発力、巧緻性、筋力、筋持久力、柔軟性等についても評価します。

テスト項目	基礎的な運動能力	体力要素	運動の特性 (体育の学習等で高めていく力)
50m走	走	スピード(すばやく移動する能力)	すばやさ・力強さ
持久走 20mシャトルラン		全身持久力(運動を持続する能力)	ねばり強さ
立ち幅跳び	跳	瞬発力(すばやく動き出す能力)	力強さ・タイミングの良さ
ソフトボール投げ	投	巧緻性(運動を調整する能力) 瞬発力(すばやく動き出す能力)	タイミングの良さ 力強さ
握力		筋力(大きな力を出す能力)	力強さ
上体起こし		筋力(大きな力を出す能力) 筋持久力(筋力を持続する能力)	力強さ ねばり強さ
長座体前屈		柔軟性(大きく関節を動かす能力)	体の柔らかさ
反復横跳び		敏捷性(すばやく動作を繰り返す能力)	すばやさ・タイミングの良さ

本校の結果から見えること

今年度の結果を見ると、昨年度比較で合計点ではあまり変化がありませんでした。しかし、種目別に見ていくと、握力については区の平均値を上回っている学年が多くありました。「力強い動き」の高まりが見て取れます。また、立ち幅跳びや20mシャトルランでも、半分以上の学年で区の平均を上回っていました。区の平均と比較して、課題となるのは昨年度に引き続きソフトボール投げで、区の平均値より低い学年がほとんどでした。

ソフトボール投げは、全身の筋力を使ってできるだけ遠くにボールを投げます。助走をとらないので、縮んだ筋肉を思い切り伸ばすことで遠くに投げることができます。腕だけの力で遠くに投げることはできません。テイクバックやフォロースルー、まっすぐ前を見て全身を連動させ、タイミングよくボールをリリースすることなどがが必要です。この「巧みな動き」に分類されるソフトボール投げの記録低迷の理由として、運動経験の少なさが上げられます。体の使い方(リズムやタイミングに合わせて全身を連動させる動き等)が分からないという子が、どの学年にも多くいることが予想されます。日頃の生活において、学校としても児童が様々な運動に触れさせる機会を意図的に設ける必要性があると感じました。

子供たちの体力向上のために

子供たちの遊びの様子を見てみると、おにごっこやサッカーなど走る遊びを好んで行っています。ドッジボールなどボールを投げる遊びも好きな子が多いようですが、実際の所はその経験に偏りがあります。また、体力テストのボール投げで行うような小さなボールを思いきり投げる機会も少ないです。本校では、本年度「元気アップ足育月間」として子供たちに様々な運動(遊具や器具を使用したもの)を経験させ、運動の日常化に繋げ、長期的な目線で体力向上を行っていきます。投動作についても各学年で取り扱い、基本的な投げ方や体の使い方を身に付けていきます。

体力を高めるには、まずは運動経験が重要です。走るだけ、投げるだけなど、1つの動きを集中的に行うのではなく、様々な動きや複合的な動きを数多く経験しながら、意のままに体を動かせるようになり、総合的に体力を高めていくことが大切です。また、気候によっては休み時間に外に出たがらない子供たちもいます。室内での遊びに偏らず、外遊びの習慣を身に付けることが最も大切なことです。



本校では、「元気アップ足育月間」「元気アップなわとび月間」を設定し様々な運動に親しむ機会をつくっています。特に「元気アップ足育月間」では、子供たちが様々な運動遊びを経験し、日常化に繋げていくことができるように実施しています。例えば「ゴム段跳び」や「バンブーダンス」などの跳の運動や、「ドッジビー」や「的当て」などの投の運動、さらに「すもう」や「竹馬」「平均台」など普段なかなか取り組む機会の少ない遊びも取り入れています。興味をもったものに休み時間等にも取り組んでほしいと思っています。

体力を高めることは、生涯にわたって健康で明るい生活を営むための基盤となります。ご家庭でもぜひ、これらの運動遊びなどを参考にして、運動に親しめる機会をつくってみてください。

